

2024年3月22日

日 本 銀 行

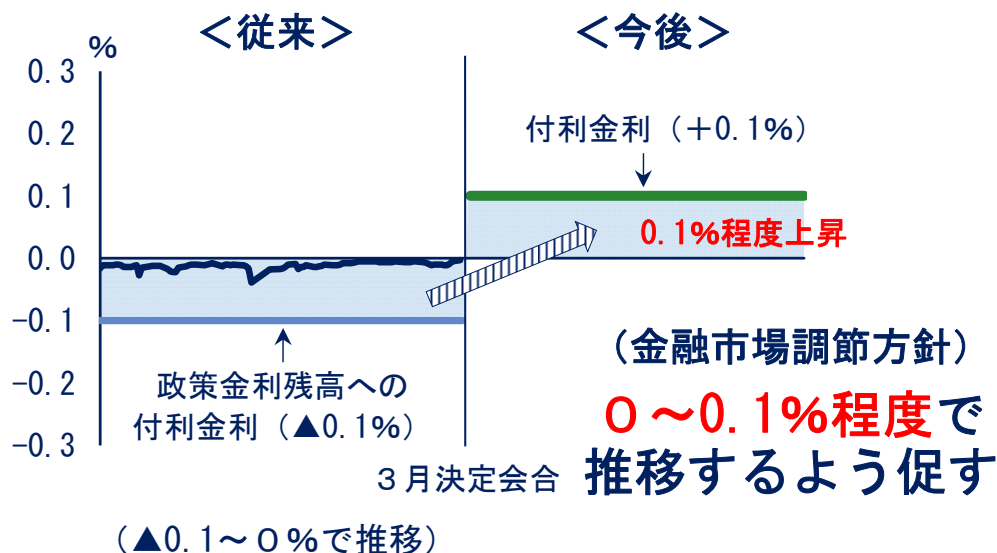
月例経済報告等に関する 関係閣僚会議・資料

—— 最近の金融市場の動き ——

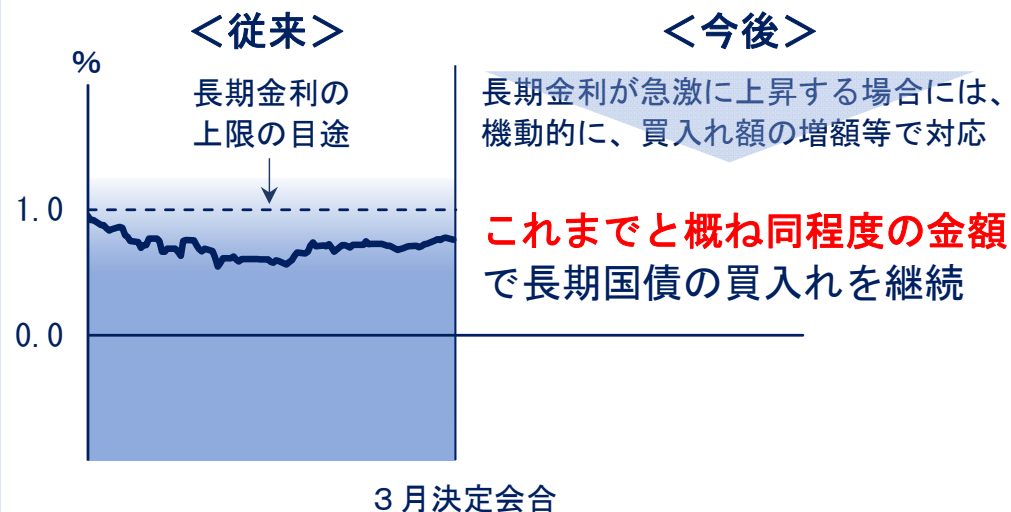
1. 金融政策の枠組みの見直し（2024年3月）

- 最近のデータやヒアリング情報から、賃金と物価の好循環の強まりが確認されてきており、先行き、「展望レポート」の見通し期間終盤にかけて、**2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況**に至ったと判断。マイナス金利政策やイールドカーブ・コントロールなどの大規模な金融緩和は、**その役割を果たした**と考えている。
- 引き続き「物価安定の目標」のもとで、その持続的・安定的な実現という観点から、**短期金利の操作を主たる政策手段として**、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融政策を運営する。現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、**当面、緩和的な金融環境が継続**すると考えている。

短期金利（無担保コールO/N物）



長期金利

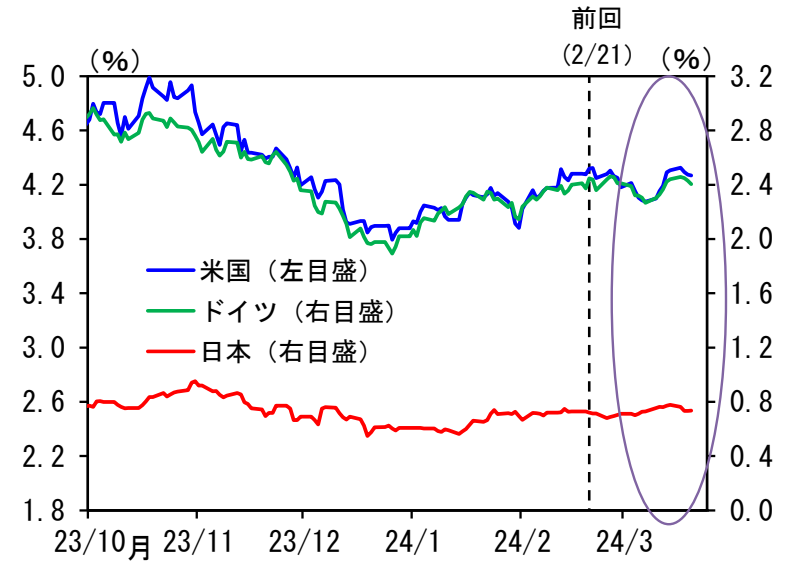
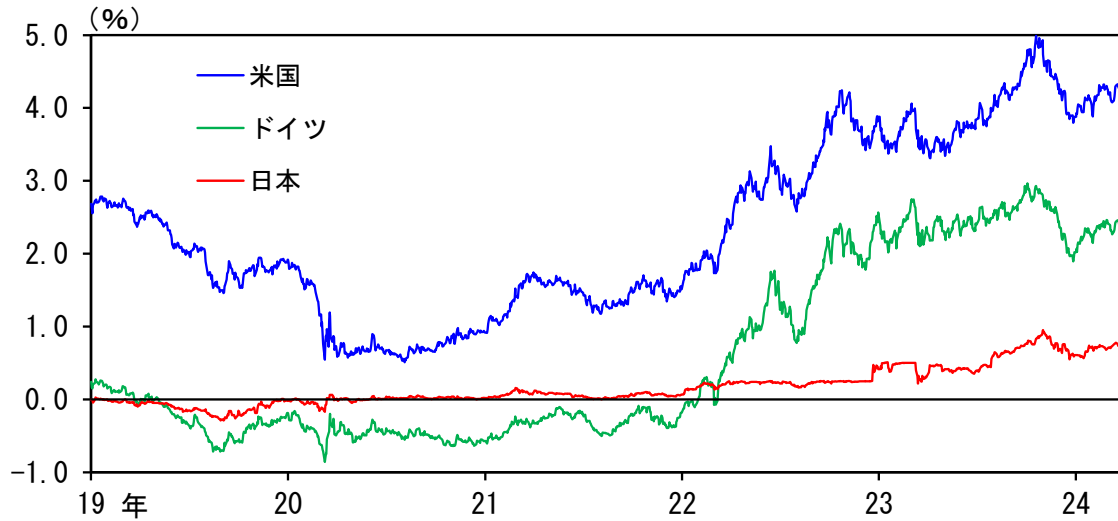


ETF・J-REIT

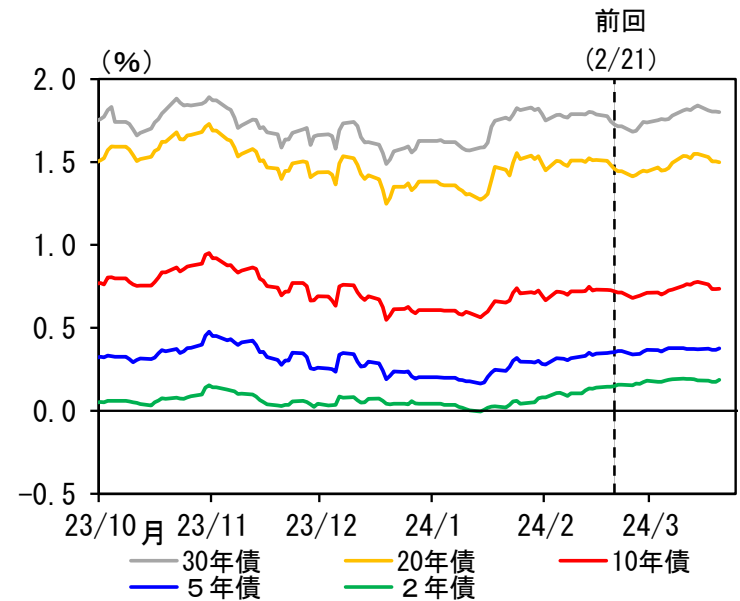
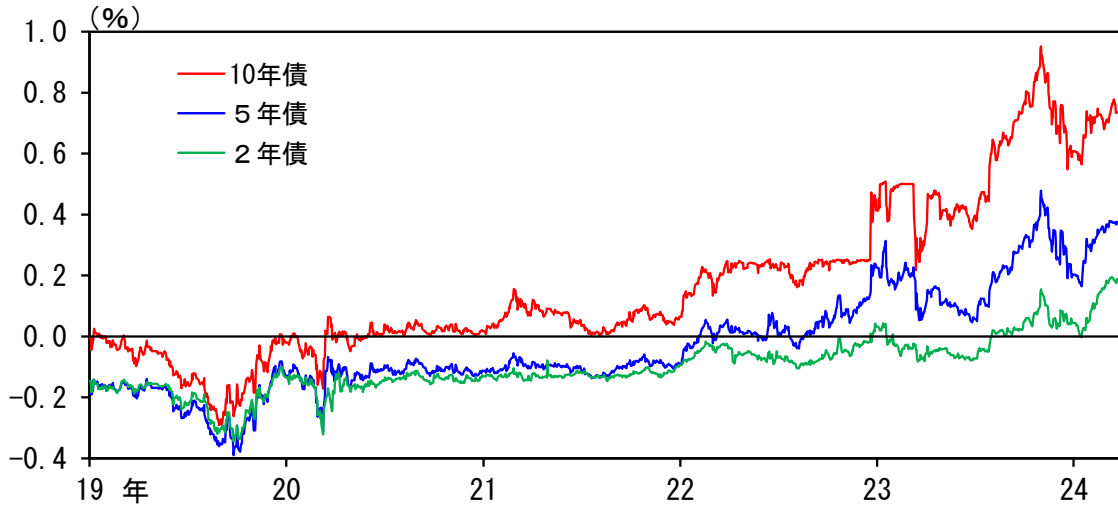
新規買入れを終了

2. 債券市場

(1) 主要国の長期金利



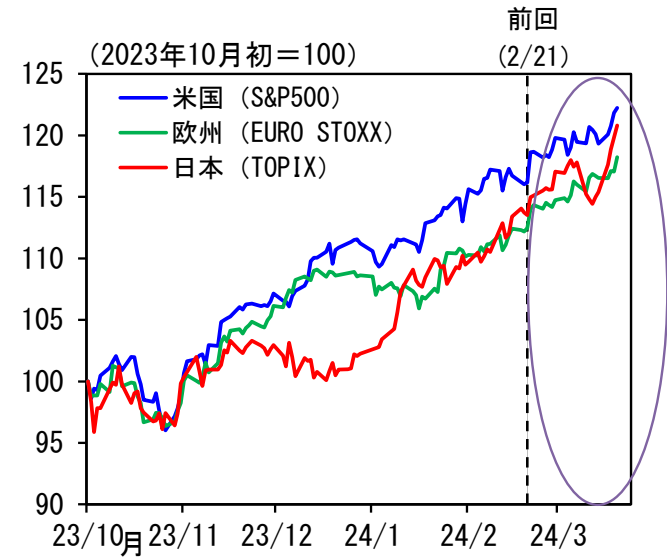
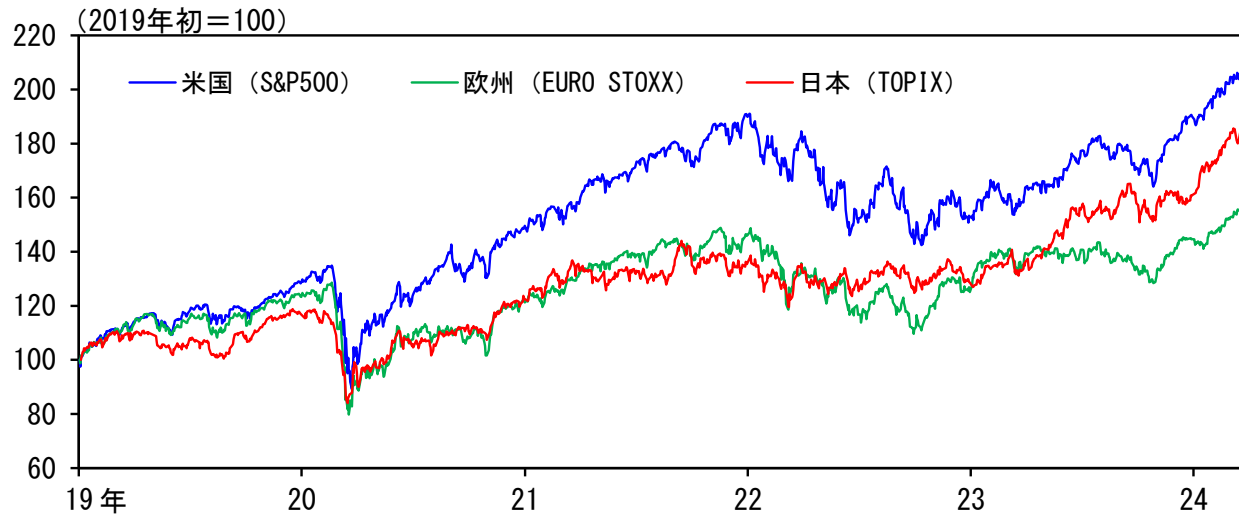
(2) 日本国債利回り (年限別)



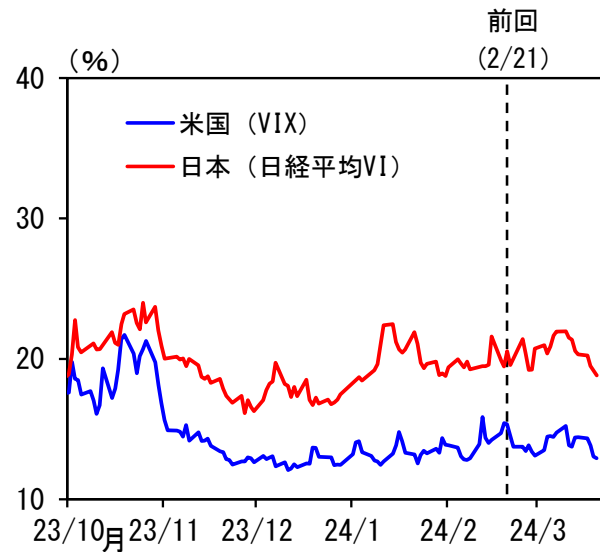
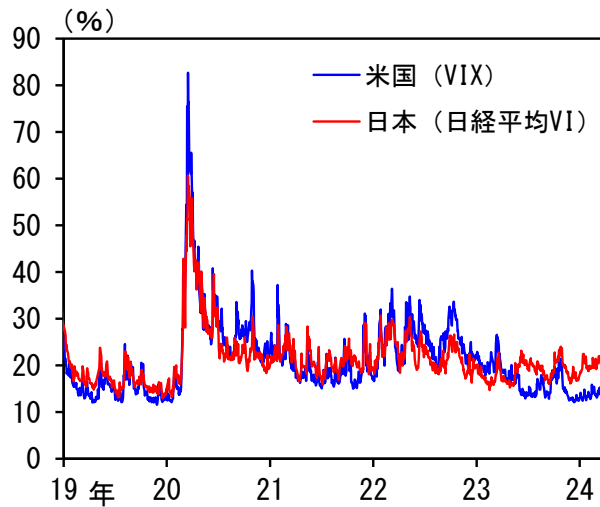
(出所) Bloomberg

3. 株価

(1) 日米欧の株価



(2) 日米株価のボラティリティ



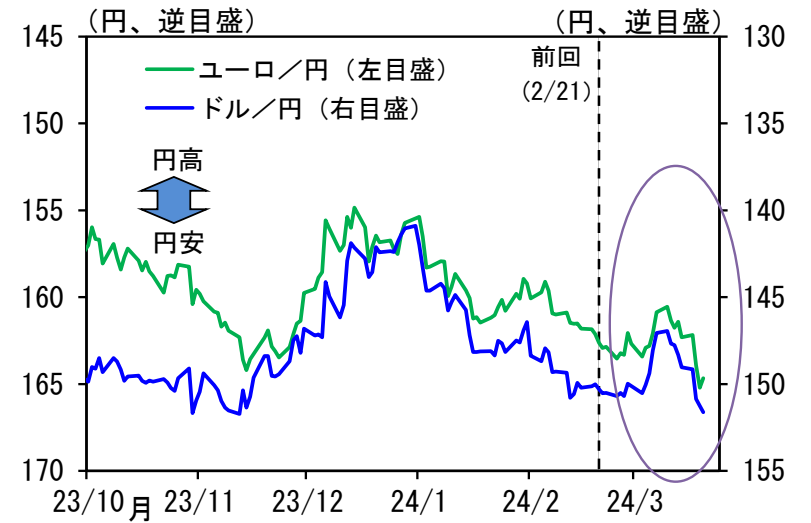
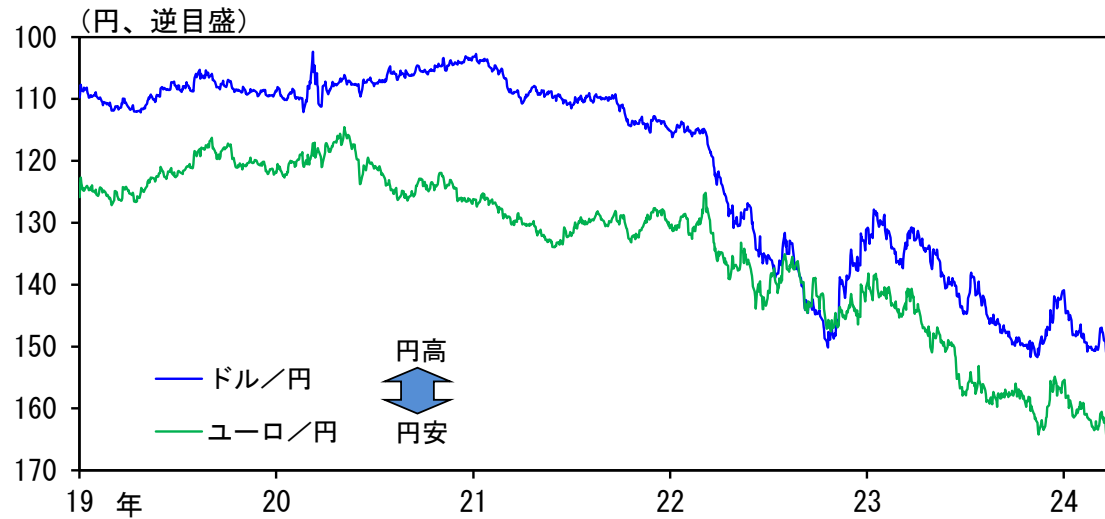
(3) 日経平均株価とTOPIX



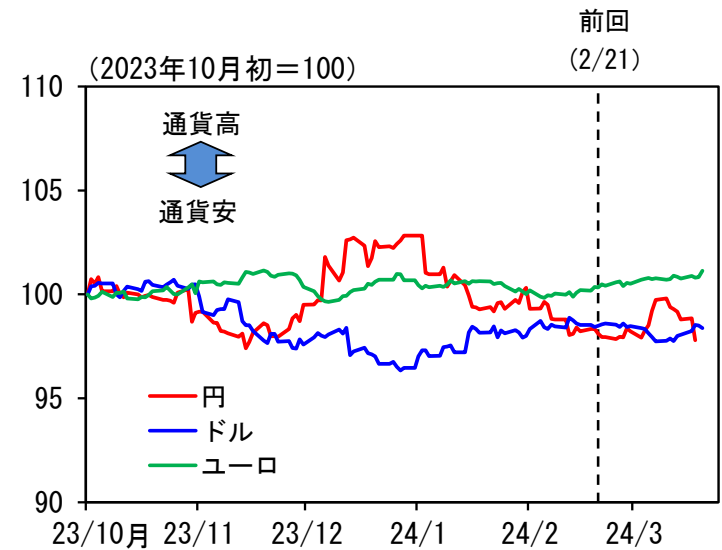
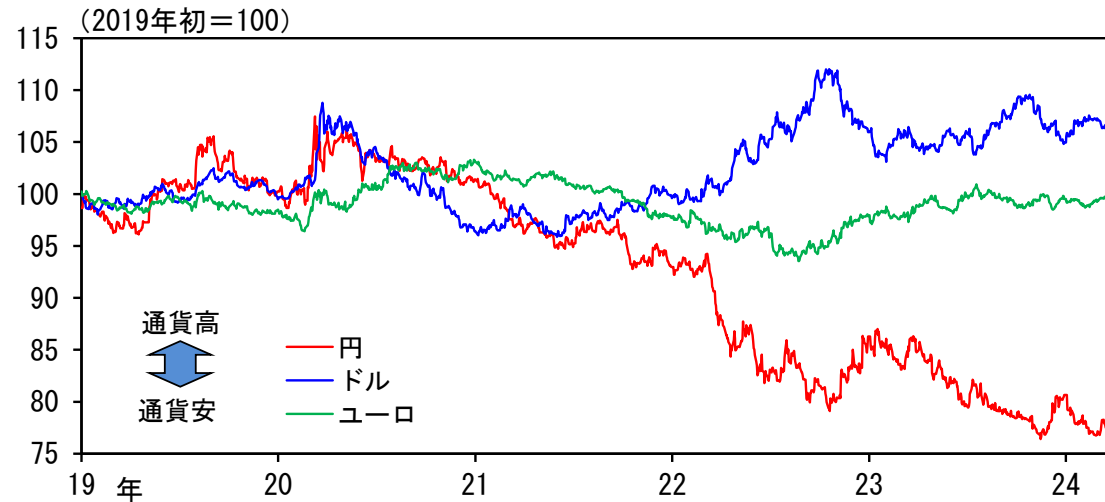
(出所) Bloomberg

4. 為替相場

(1) ドル／円、ユーロ／円相場



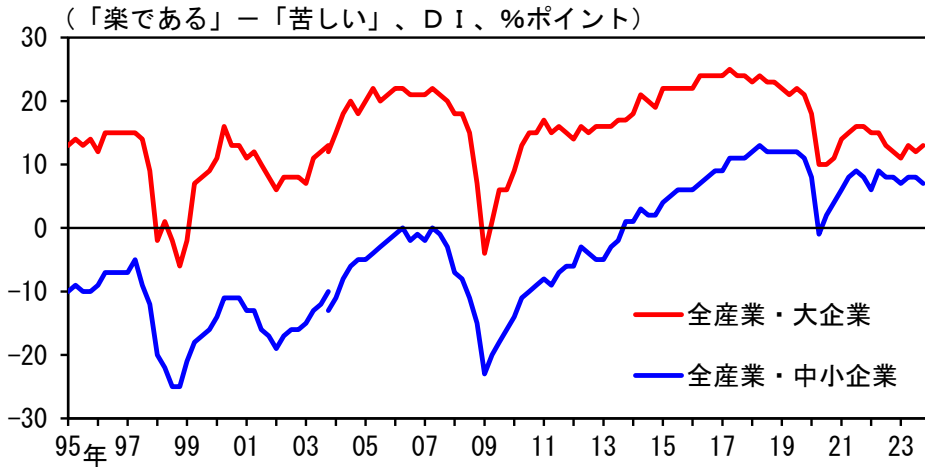
(2) 名目実効為替レート



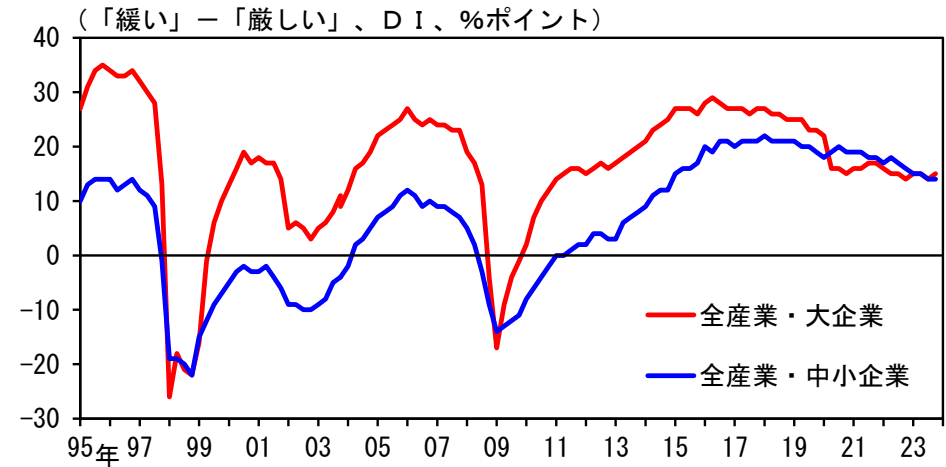
(出所) Bloomberg、LSEG Datastream、ECB、日本銀行

5. 国内の金融環境

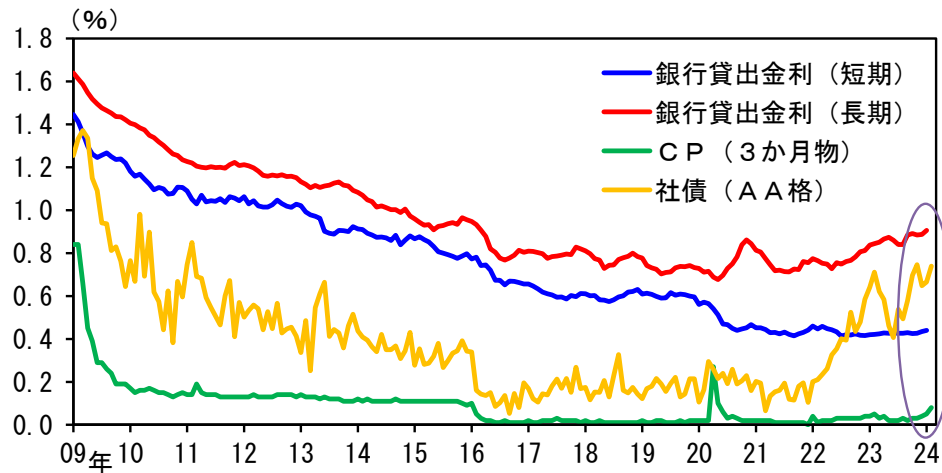
(1) 企業の資金繰り



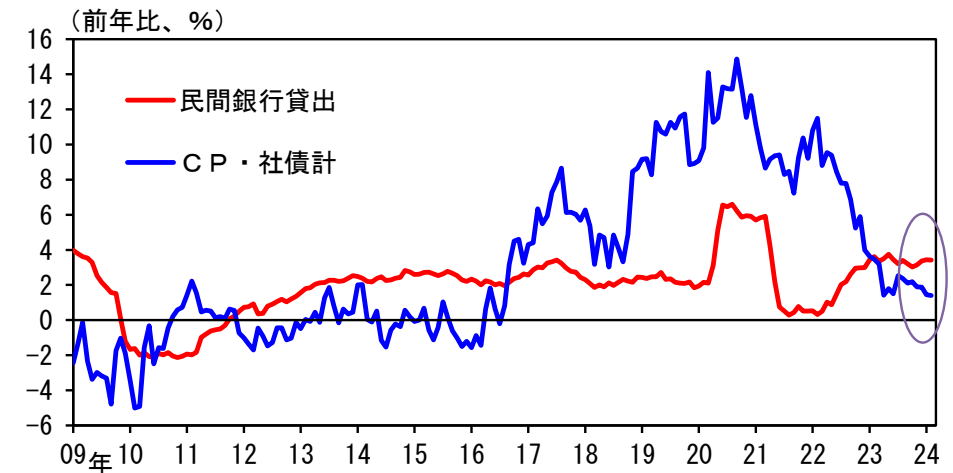
(2) 企業からみた金融機関の貸出態度



(3) 資金調達コスト



(4) 貸出残高とCP・社債発行残高



- (注) 1. (1)は、短観の資金繰り判断DI。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
 2. (2)は、短観の金融機関の貸出態度判断DI。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
 3. (3)のCP発行利回りの2009/9月以前はa-1格以上、2009/10月以降はa-1格。社債発行利回りは、単純平均値、起債日ベース。対象は国内公募社債で、銀行や証券会社などの発行分は除く。銀行貸出金利は、後方6か月移動平均。
 4. (4)の民間銀行貸出は平残前年比、CP・社債計は末残前年比。民間銀行貸出には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。
 (出所) 日本銀行、Bloomberg、証券保管振替機構、キャピタル・アイ、アイ・エヌ情報センター